宝城中学校だより

令和７（2025）年６月２７日
第２５号
校長　小田　哲也

学校教育目標：「集団の力を活かして、よりよい社会の創り手として「自走」できる生徒の育成」

１　体験すること、経験することが次の一歩につながる。（振り返り後半）

　前回の学校だよりから、１学期の振り返りとして書いていますが、今回は後半戦になります。私は、自分の周りで起きていることや見聞きしたこと、良いこと、悪いこと、嬉しいこと、悲しいことなどの体験した出来事の全てが、経験として自分の中に蓄積されていくと考えています。

　それらのことを通して、自分の長所や短所など「自分を知る」ことができるので、次の新たな一歩を踏み出す時の参考になると考えています。

＜振り返ろうパート２＞

①１年生救急救命講座（もしもの時に、行動できる力をつけておくということ。）

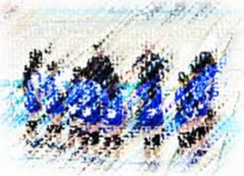
②３年生高校出前授業（久留米学園高校にお世話になりました。進路選択の参考に！！）

③教育フォーラム（自分の夢を語ることができましたか？交流は深まりましたか？）

④情報モラル教室（ネットやスマホの危険性を知って、どうするかは自分次第です。）

⑤２年生職場体験オリエンテーション（地域の方々から、生き方を学んでいきます。）

⑥うきは市・小郡市三井郡ブロック中体連大会（自分の力を発揮できたかな？）



※　今年の中体連でも熱い闘いが繰り広げられ、全力を尽くす姿を見ることが出来ました。その姿は見ていて、とても眩しい姿でした。

　しかしながら、スポーツの試合では、勝敗がつきものです。勝者は、勝つための準備ができていて、敗者は勝つための準備が足りなかった、ということだと私は理解しています。一番大切なことは、負けた後に自分でその結果の責任を負うということです。そして自分の糧にするということです。

　またスポーツに限らず、何か物事を成すときには、周りの人々のサポートが必ずあるものです。そのことに気づき、感謝の気持ちを持って取り組めることは、その人の人生を幸福感のある豊かな経験にしていきます。

○　筑後地区大会には、水泳部から男子２名女子２名、男子ソフトテニス部から１ペア、女子ソフトテニス部から１ペアが出場します。みなさん応援をよろしくお願いします。